
CORPORATE DESIGN BOOK

株式会社Piece

Contents

企業理念	03
企業ビジョン	04
経営方針	
・顧客への約束	05
・社員への約束	06
・社会への約束	07
・フィロソフィー	08
人材育成方針	09
差別化・区分化・専門化戦略	10
部門別方針	11
株式会社Pieceで働くうえで、 全員が大切にすること	15
株式会社Pieceの会社のルール	18
創業の歴史・精神	19

介護士の自己実現

わが社は、介護士の自己実現を支え、『やりがい・収入・成長・誇り』のすべてを手にし、描いた理想の人生を歩める環境を作ります。そしてそれが結果的に幅広い利用者様に愛され、貢献することにつながっていきます。

自己実現とは

目的目標を明確に定め、そこに向かって自分自身が行動に納得感を持ち、他責にすることなくポジティブに捉え、生きがいを感じながら生きられることを指します。

理想の人生とは

人の役に立ちながら、仕事・生き方・未来を自分で選び続けられる人生のことを指します。

愛される介護士とは

ただのお世話人ではなく、利用者様に尊敬され、互いに高め合い、人生を伴走することにより「この人がいるから自分の人生を頑張れる」と思っただけのパートナーとしての存在を指します。

介護を通じて自己実現を達成できる、 誰もが一度は就職してみたい介護会社

対顧客：笑顔と元気と生きる希望を提供する

ホームパフォーマー

私たちは利用者様の言葉を聞き、次に音を聞き、さらに声にならない声を聞きます。思っているけど表現できない利用者様が普段諦めている、

「あと少しこうしたい！」

「もう少しこうしたい！」

を探しだし、笑顔を見つめます。我々はホームヘルパーではなく“ホームパフォーマー”です。

利用者様が、

「早く～さんが来てほしい！」

「早く～さんが来る○曜日になってほしい！」

と思ってもらえるパフォーマーを目指し続けます。

対社員：生涯の自己実現の舞台

私たちは多くの介護士が諦めている『夢を見る、自分の将来に期待する』ということを実現にし、『やりがい・収入・成長・誇り』のすべてを手にし、物心両面が満たされる人生を目指し、達成してもらいます。

対社会：介護士に夢を与える介護会社

我々は『誰もが一度は就職してみたい介護会社』のモデル会社になり、介護士に自信と夢を与えます。多くの企業が現在深刻な人手不足問題を抱えている中で、その問題を解決し、模範企業として介護業界に革命を起こします。

笑顔と元気と生きる希望を提供する ホームパフォーマー

利用者様の声にならない声を聞く。

私たちは日頃、利用者様が抱えている悩みを一つでも多く見取り、聞き取り、感じ取ることを意識してサービスを提供します。言われたことだけをやる介護ではなく、真心を持って、利用者様の痒いところに手を届かせることを意識します。

当社はホームヘルパーではなく、 “ホームパフォーマー”が笑顔を届ける。

私たちは生活をサポートするただのホームヘルパーではなく、利用者様、そしてそのご家族様まで笑顔にするコミュニケーションができるホームパフォーマーがサービスを提供します。それにより、少しでも笑顔と元気と生きる希望を与えたいと考えています。

利用者様の自立をサポートする。

私たちはただ利用者様の生活のサポートをするのではなく、自分自身が自己実現を目指す姿勢を通じて利用者様の生きる希望となり、「できない…」を「できる！」に変えていくことで自立していくことを促します。

生涯の自己実現の舞台

一人ひとりに人生の目標と短・中期目標を定めてもらい、定期的に確認する習慣をつける。

それによって目的意識をもって

日々を生きることが出来る人間を育てていく。

弊社は社員入社時に将来の夢があるかを聞きます。約8割の方はすぐに答えることができません。そこで、どんなことでも叶うとすればどんな生活がしたいかを尋ね、自分の本当の欲求に気づいてもらい、理想に少しでも近づくための支援をしていきます。

志願者には経営者になるための考え方や

具体的な行動を伝えて、社員が夢を叶えるために助力する。

社員との面談を通じて「昔は社長になりたいという夢があった」と話す社員は少なくなく、「できるなら目指してみたい」と言う方もいます。そんな夢をこの介護の仕事でもう一度目指せるように、具体的な方法を教え、独立達成から軌道に乗るまで伴走していきます。

報酬水準において業界最高レベルを目指す。

当社は、責任能力に応じた報酬を提供します。高い責任能力を持つ人材に対しては、業界最高レベルの報酬を与え、全社員にそこに至る機会を提供します。

介護士に夢を与える介護会社

介護業界のイメージを変える。

当社の社員一人ひとりが自己実現をすることで、3K（汚い・きつい・給料低い）のイメージが強い介護業界を、夢を持って物心両面で豊かになれる業界であるという認識に変えていきます。

介護業界の人手不足を解消する。

業界のイメージを変えることで、若者も介護に興味を持ち、人手不足にならない介護会社の作り方を発信して業界に革命を起こします。

経営方針 - フィロソフィー -

フィロソフィーとは、「株式会社Pieceの社員としてふさわしい5つの行動規範」のことです。

社員一人ひとりが5つのフィロソフィーを体現することを通じて、株式会社Pieceらしい文化が作られます。この文化そのものが、利用者様・社会に伝播し、目的・目標が達成される土壌が形成されていきます。

① 楽しむ

「私たちは常にポジティブに人生を楽しみます。」

すべての物事を楽しめるように肯定的に解釈し、積極的な態度を取り続けることがPieceの行動規範です。

② 素直

**「私たちはすべてを素直に受け入れ、
学びに変え続けます。」**

自分の正しさに固執しない。事実・結果・意見を受け止めて、「すべて学びに変える！」という姿勢でいることがPieceの行動規範です。

③ 誠実

**「私たちは利用者様・ご家族・仲間に対して
誠実に向き合います。」**

自分の言葉に責任を持ち、自分が発言したことに対しては確実に全うすることがPieceの行動規範です。

④ 尊重

「私たちは規律を重んじ、相手を尊重し続けます。」

約束・時間・ルールを大切にし、相手を尊重し続けることがPieceの行動規範です。

⑤ 心配り

**「私たちは利用者様に心から喜んでもらうために、
声にならない声を聞きます。」**

もし自分が利用者様だったら何をしてほしいか考えること、そして小さな動きや変化も見逃さず、今できる最善の心配りをすることがPieceの行動規範です。

人材育成方針

縁ある人から応援され 理想の人生を歩む主人公

誰かの役に立ちたいという思いから行動し、その過程で起こる失敗や指摘さえも素直に受け止め、逃げずに向き合い続けながら、与えられた仕事を自分の人生と重ね、自らの成長と成功を本気で追い求める人材が理想の人材像です。

**考え方や物事への向き合い方、
自分自身の人生の目標を明確に設定し、
その目標と日々の仕事を結びつけて考え、
行動できる力を育てることを重視して育成する。**

私たちは、介護士としての業務や技術だけを向上させていくのではなく、「なぜこの仕事をするのか」「この経験が自分の人生にどうつながるのか」を一人ひとりが自分の言葉で語れる状態を目指します。仕事をこなすものではなく自分の人生を前に進める手段として捉えられる人材こそが、素直で誠実に人のために動きながら、成長と成功を実現できます。つまり介護士の自己実現が達成されます。

目標意識を常に持てる人材を育成する。

私たちは与えられた仕事の意味や背景を理解しようとし、そして目標から逆算し、優先順位を自ら判断します。作業で終わらせず、「成果」を意識して行動します。常に目的とゴールを意識し、今この行動が目標にどうつながるのかを考えて動くことが大切です。

差別化・区分化・専門化戦略

■商品戦略

日々の生活に笑顔を届けるユーモア戦略 ～人は幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになる～

当社の訪問介護モデルは、介護士一人ひとりが自己実現を達成することを目標にしています。そこまでの成長と定着を偶然に任せるのではなく、育成・評価・フォローを仕組みとして設計していきます。その結果、人が辞めにくくなり経験が積み上がり、利用者様やそのご家族が笑顔になっていただけるようなユーモアなどのサービス品質が無理なく高水準で維持される構造を実現します。

■営業戦略

営業コストを下げるのではなく、 営業が不要になる品質作りを重視する戦略

当社は、営業コストを下げることを目的とせず、迅速な対応力・丁寧な報連相・トラブル時の誠実な対応など、現場品質そのものを営業機能に変える仕組みを構築しています。その結果、広告や営業人員に依存せず、紹介を起点としたローコストオペレーションを実現します。

■マーケティング戦略

自己実現を目指す人材を起点に 圧倒的No.1を取れる訪問介護マーケット

訪問介護業界にはすでに全国チェーンや、資本力のある大手法人が存在しているので、規模勝負をすると、人材・教育・文化が追いつかず、崩れやすくなります。そのため弊社は介護士の自己実現を軸にした思想を持ち、人を育て、委任し、伸ばす文化を強みとしていきます。フランチャイズ先にも、単なる訪問介護の立ち上げや運営を教えるだけでなく、社員が自己実現を目指すための研修なども提供していきます。

部門別方針

訪問介護員部門

■部門の役割

- ・利用者様のご自宅を訪問し、日常生活を支える介護サービスを提供する単なる支援にとどまらず、利用者様がより快適で自分らしい生活を送れるよう考え、行動する。
- ・利用者様一人ひとりの状態・想いを汲み取り、最適な関わりを実践する。
- ・新入社員・未経験者へのサービスの引き継ぎ・OJT・指導を行う。
- ・日々の振り返りと学びを通じた介護技術・接遇・人間力の向上を目指す。

■中長期戦略

① サービス品質の均一化と底上げ

- ・支援内容・接遇レベルの基準の明確化
- ・「できている人基準」ではなく「誰でも再現できる基準」の整備
- ・利用者様満足度を意識したサービス提供の徹底

② 育成・引き継ぎ体制の強化

- ・新入社員・未経験者が不安なく現場に立てる教育体制の構築
- ・引き継ぎ時の情報共有の質と量の向上
- ・教える側も成長できる育成文化の醸成

③ 介護技術・対応力の継続的向上

- ・介護技術だけではない、観察力・判断力・コミュニケーション力の強化
- ・利用者様の変化に気づき、先回りして対応できる力の育成
- ・事故・ヒヤリハットを未然に防ぐ意識の定着

④ 理念を行動に落とし込む現場作り

- ・「なぜこの支援をするのか」を考える習慣作り
- ・感謝・笑顔・前向きな声かけを当たり前にする文化の定着
- ・利用者様・ご家族・関係者から信頼される介護員集団の形成

福祉マンション運営部門

■部門の役割

- ・福祉マンションの運営管理全般
(入退去・契約・設備・ルール管理)
- ・入居者の獲得に向けた入居率向上施策の立案・実行
- ・入居者および関係機関との円滑なコミュニケーション
- ・入居者からのクレーム・トラブル対応および再発防止
- ・安全・快適に暮らせる住環境の維持

■中長期戦略

① 入居率向上を目的とした集客・紹介導線の強化

- ・相談支援事業所・医療機関・福祉事業所との連携強化
- ・入居ターゲット像の明確化と受け入れ基準の整理
- ・空室期間を最小化するためのスピード対応体制の構築

② 入居者満足度向上とクレーム削減の仕組み作り

- ・クレーム・要望の一次対応フローの明確化
- ・感情対応と事実対応を切り分けた冷静な対応力の向上
- ・同様のトラブルを繰り返さないための再発防止策の徹底

③ 運営オペレーションの標準化・属人化の排除

- ・入退去・契約・連絡対応のルール整備
- ・誰が担当しても一定品質を保てる運営体制の構築
- ・管理業務の効率化による対応スピードの向上

④ 介護・障害福祉事業との連携強化による付加価値向上

- ・入居者の生活課題を早期に把握した必要な支援
- ・グループ内連携による生活満足度と継続入居率の向上
- ・「ここに住み続けたい」と思われる
マンション運営の実現

⑤ 居住者の自立度の向上

- ・生活のサポートだけではない自立の支援
- ・ヘルパーが自己実現を目指す姿を通じて、
最終的には居住者が一歩踏み出すきっかけとなり
福祉マンションからの卒業を目指す

管理部門

■部門の役割

- ・ヘルパーが働きやすい仕組みを作る
- ・ヘルパーの悩みや課題などを汲み取る
- ・トラブルがあったときに迅速に対応する
- ・シフト調整
- ・利用者の情報などをまとめて資料を整える
- ・新規利用者獲得のために営業する
- ・新規スタッフの採用活動

■中長期戦略

① ヘルパー定着を軸とした働きやすい仕組み作り

- ・相談・フォロー体制の明確化
- ・不安や不満が表面化する前に拾い上げる仕組みの構築

② トラブル・クレーム対応力の底上げ

- ・初動対応フローの整備
- ・情報共有のスピードと正確性の向上
- ・「問題を責める」のではなく「再発を防ぐ」視点の定着

③ 利用者情報・業務オペレーションの整備と効率化

- ・情報管理の一元化
- ・現場が迷わず判断できる資料・マニュアルの整備
- ・管理業務の効率化による、現場支援時間の最大化

④ 安定成長に向けた営業・採用活動の強化

- ・関係機関との信頼構築を軸とした営業活動
- ・価値観・理念に合う人材の採用
- ・採用後のフォロー体制強化による早期離職防止

⑤ 自己実現への働きかけ

- ・ヘルパーの目的・目標の明確化
- ・ヘルパーの表彰・承認の仕組み作り

Memo

株式会社Pieceで働くうえで、全員が大切にすること

このルールは、社員を縛るためのものではありません。自分の人生を前に進めるために、全員で守る約束です。

① 自分の人生に責任を持つ

私たちは、「会社のせい」「環境のせい」「人のせい」にしません。今の行動も、今の結果も、すべて自分の人生の一部として引き受けます。うまくいかない時こそ、「じゃあ自分はどうするか」を考えます。

② 目的・目標を持って働く

Pieceでは、目的や目標を持たないまま働くことを良しとしません。

- ・なぜこの仕事をしているのか
 - ・どんな人生を歩みたいのか
 - ・今の行動はどこにつながっているのか
- 言葉にし、考え続けることをルールとします。

③ 利用者様の声にならない声を大切にする

言われたことだけをやる介護は、Pieceの介護ではありません。

- ・表情
- ・仕草
- ・間
- ・空気

そこにある小さなサインを感じ取ろうとする姿勢を、すべての行動の基準とします。

④ 約束・時間・ルールを守る

信頼は、小さな約束を守り続けた先にしか生まれません。

- ・時間を守る
- ・報告・連絡・相談を怠らない
- ・決めたことをやり切る

これは技術以前の、プロとしての最低条件です。

⑤ 誠実でいる

失敗してもいい。

分からなくてもいい。

ただし、ごまかさない・逃げない・嘘をつかない。

誠実さを失った瞬間に、介護士としても、人としても成長は止まります。

⑥ 学び続ける

Pieceでは、「知らなかった」「できなかった」は責めません。しかし、学ぼうとしない姿勢は許しません。

指摘・失敗・トラブルすべてを自分を成長させる材料に変え続けます。

⑦ 仲間を大切にする

私たちは一人で戦いません。

- ・感謝を言葉にする
- ・困っている仲間を放置しない
- ・陰口ではなく、直接伝える

チームで自己実現する会社であることを忘れません。

⑧ 楽しむ姿勢を選ぶ

楽だから笑うのではなく、笑うから楽しくなる。大変な状況でも、どう捉え、どう行動するかは自分で選べます。人生も仕事も、楽しむ覚悟を持つことをルールとします。

⑨ 介護士として誇りを持つ

私たちは「ただのホームヘルパー」ではありません。

利用者様の人生に伴走するホームパフォーマーです。

自分の仕事に誇りを持ち、堂々と語れる介護士であり続けます。

⑩ 介護を通じて自己実現を目指す

Pieceで働く目的は、「生活のため」だけではありません。
介護を通じて、

- ・ やりがい
- ・ 収入
- ・ 成長
- ・ 誇り

そして、描いた理想の人生を実現すること。
このゴールを、全社員が本気で目指します。

最後に

このルールは、
守れない人を切り捨てるためのものではありません。

守ろうとする人を、全力で応援するためのルールです。

株式会社Pieceは、
介護士の自己実現を、本気で叶える会社です。

株式会社Pieceの会社のルール

① 自分の人生に責任を持つ

うまくいかない時に、環境や人のせいにせず「自分はどうか」を考えます。

② 目的・目標を持って働く

Pieceでは、「なんとなく働く」はしません。
自分の人生の目標と、今の仕事をつなげて考えます。

③ 利用者様の声にならない声を大切にする

言われたことだけをやる介護ではなく、
表情・仕草・雰囲気から想いを感じ取ろうとします。

④ 約束・時間・ルールを守る

信頼は、小さな約束を守ることでしか生まれません。

⑤ 誠実でいる

失敗しても大丈夫。でも、ごまかさない・逃げない・嘘をつかない。

⑥ 学び続ける

分からないことは恥ではありません。
学ぼうとしないことが、成長を止めます。

⑦ 仲間を大切にする

感謝を伝え、困っている仲間を放置しません。
私たちはチームで働きます。

⑧ 楽しむ姿勢を選ぶ

楽だから笑うのではなく、笑うから楽しくなる。
考え方は自分で選べます。

⑨ 介護士として誇りを持つ

私たちは「ただのヘルパー」ではなく、
人生に寄り添うホームパフォーマーです。

⑩ 介護を通じて自己実現を目指す

やりがい・収入・成長・誇り。そして、描いた理想の人生。
それを本気で叶えにいきます。

創業の歴史・精神

■コアメッセージ

「全員が人生の主人公」

「介護業界のイメージを変える」

「介護士は最も直接的に人の命を救う素晴らしい仕事」

■コアヒストリー

私は1996年に兵庫県丹波篠山市に生まれました。幼少期から学生時代は平凡に過ごしていました。中学3年生の時に父親が公務員ということ、運動が得意だということから、母親の「将来は消防士を目指したらいいんじゃない？」という何気ない一言から自分の将来の夢は消防士だと友人などに話すようになりました。

高校3年生の時に就職活動をして、神戸消防局に採用が決まり就職しました。周りの方からは「すごいね!」「かっこいいね」とたくさんの賞賛の言葉をいただきました。実際に働き始めてから私の中で少しずつ違和感を覚えていたことに、ある日気づきました。

当時、私は自分の希望で救急隊員をしていました。消防士は人の命を救う素晴らしい仕事だということは世間のイメージであり、実際事実ではあります。しかし、あまりにもタクシーの代わりに救急車を呼ぶ人が多いことや、火を消す消防隊員として勤務していた時は、そもそも火災現場に出動する機会が極端に少ないということなどから、命を救うことはあるが、ごくたまにだなと思っていました。

その想いを抱えながら5年ほど勤めていたとき、コロナが日本にやってきました。コロナによって日々の救急業務が忙しくなってきたタイミングで私は日本の対応やマスコミの報道などに疑問を持つようになりました。

様々な想いがあったのですが、長くなるので割愛します。私はこのままこの国の公務員のままでは幸せになれない。自分で稼ぐ力を身につけないといけないと強く思うようになり、転職を決意しました。

最初は営業の仕事を始め、2年間である程度の実績と人脈、コミュニケーション能力を身につけ、営業と同時並行でBarの会社を起業し店舗を持ちました。経営が順調に進み、自分が現場に行かず、スタッフの管理だけで良くなったタイミングでたまたま介護の会社を経営されている方に出会いました。

そこで初めて介護という仕事に触れ、今の日本には必要であり、尚且つ飲食店とは違い、天災などの影響を受けにくく、長く続けることができる仕事だと思い、介護の会社を立ち上げることを決めました。介護士の資格を取得し、自ら介護の現場を経験し、すぐに思ったことが2つありました。

1つは自分が現場に行かないとこの利用者様は死んでしまう。毎日のように直接的に人の命を救う仕事なんだと。正直、消防士よりも圧倒的に人の命を救う仕事だと感じました。

2つ目は介護士である自分に対する自己概念が高くない人が多いことです。こんなに人の命を救っていて、やりがいしかない仕事なのに、なぜか介護士である自分に自信を持っていない人が割合的に多いなと思いました。それは介護業界のイメージが3K（汚い、きつい、給料低い+誰でもできる）といわれているからだとわかりました。

私自身も実際に仕事に触れるまでは自分が「介護士になりたい！」「やりがいがありそう！」とは思っていなかったのも事実でした。

私はこの状況がおかしい、変えたいと思い、業界イメージを変えるためにはどうしたらいいのかを考え続けて日々、試行錯誤しています。

介護士という仕事に対して負い目を持っている人と接していて感じるのは、自分の人生に自分で蓋をしている人が多いということです。

私は全員が人生の主人公であり、自分の将来に期待をし、誰もが物心両面で豊かになることを目指すことができると確信しています。

どれだけつらいことや困難があったとしても、今の日本において死ぬことはそうそうありません。そう考えれば、達成するまで挑戦を続ければ、いつかはその壁を超えることができるのです。

それを知って生きるのか、知らずに生きるのかで人生は大きく変わると思っています。

ただ、それに気づけていないだけなので、"Piece"という会社ではそれを実現できる仕組みを作ろうと思い、社員からでもスムーズな起業を可能とし、FC店の社長として独立できる仕組みを作りました。

そうして、未来の自分に期待をすることで、自己概念を高め、日々の現場でも活力のある介護サービスを提供することができ、利用者様の満足度も上げられると考えています。

Memo

Memo

Memo

氏 名： _____

株式会社Piece

CORPORATE DESIGN BOOK

2026年3月 発行

【注意事項】

本冊子に掲載している情報は変更される場合があります。
内容に変更があった場合には本冊子の回収をする場合もありますので、回収の際はご協力をお願いします。

